

令和 9 年度

学 校 推 薦 型 選 拔
(指定校制)

学 生 募 集 要 項

大月市立 大月短期大学

目 次

本学の教育目標と教学的各ポリシー	1
学校推薦型選抜	2 ～ 4
納入金・減免等について	5 ～ 6
受験にあたっての宿泊先案内	7
障がい等を有する入学志願者の事前相談	7
その他	7
入学願書・《記入例》・受験票・推薦書・志願票等（綴じ込み）	
入学検定料	
入学願書送付簡易書留封筒（出願用）	
受験票送付用封筒（返信用）	

※この学生募集要項の内容について変更が生じた場合は本学ホームページでお知らせいたします。

個人情報の取扱いについて

大月市立大月短期大学では、入学者選抜等を通じて大学が保有することになる個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等に基づき適正な管理を行います。
本学が入学者選抜等を通じて取得した個人情報は次の目的に利用します。

- （１）入学者選抜に関する業務
- （２）入試結果の集計・分析及び入試の改善等に関する業務
- （３）入学者については、①教務事務、②学生支援業務、③授業料徴収及び付随する業務、
④奨学金事務

本学の教育目標と教学的各ポリシー

本学の基本理念（目的）

「大月短期大学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に基づき、高い理想のもとに広く一般教養を高めるとともに深く専門の学術技能を教授、研究し、文化の向上と経済活動の発展に貢献する有為な人材を育成することを目的とする」（学則より）

本学の教育目標

「（経済と経営を中心にした）現代社会の仕組みと個人」をテーマとし、以下の三点を本学の教育目的とする。

1. 社会の変化に主体的に対応できる能力を育成する
2. 一人前の社会人として生きる素養を形成する
3. 経済学・経営学を中心とした専門的な基礎知識、能力を身に付け、地域などの社会で職業人として主体的に生きる素養を形成する

本学では上記の「教育目標」のもと、以下のような「アドミSSION・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「ディプロマ・ポリシー」を設定しています。

[アドミSSION・ポリシー]

1. 社会人として、十分なコミュニケーション能力を修得しようとする高い意欲がある。
2. 社会で起きている具体的な事象に対し、強い関心を持っている。
3. 経済・経営を中心に人文・社会科学に興味があり、それを修得しようとする意欲がある。

[カリキュラム・ポリシー]

1. 主体的に学ぶ「自己教育力」を形成する。
 - ・導入科目や教養演習及び入門科目をもって、学生が自身の進路デザインと社会に対する問題意識を反映した「学習計画（研究計画）」を作成する。これをもって、経済、公共政策、経営、社会文化の専門分野に分類された複数ある専門基礎演習や専門演習を合理的に選択する（専門演習選択制）。
2. 専門的知識を活用した「問題解決力」を身につける。
 - ・専門演習を基礎に、社会の問題解決をテーマにした「卒業レポート」を全学生が作成する。
3. 「地域貢献力」を身につける。
 - ・「地域プログラム」によって地域問題の解決と地域貢献意欲を醸成する。
 - ・「教員の研究活動」と連動する学生活動を推進し、地域の問題解決のプロセスを体験する。

[ディプロマ・ポリシー]

1. 日本語を中心としたコミュニケーション能力を身につけている。
（日本語、英語、第二外国語の修得）
2. 広い範囲にわたる教養を修得している。
（導入科目、教養演習、専門入門科目等の履修による「自己教育力」の修得）
3. 経済、公共政策、経営、社会文化のうち、少なくとも1つについて基礎的な知識を修得している。
（専門的な知識の修得）
4. 地域や社会に発生している問題を、一般教養や専門的な基礎知識に基づいて明示し、その解決策を論理的に提示できる。
（「地域貢献力」の修得、「卒業レポート」の作成と「問題解決力」の修得）

令和9年度 大月短期大学 学校推薦型選抜(指定校制)

学校推薦型選抜(指定校制)は、出身高等学校等校長が責任をもって推薦し、本学を第一志望(専願)として、本学の教育目的を十分に理解した学生に対し、アドミッション・ポリシーによる選抜を実施します。小論文試験と面接(口頭試問)を実施します。

● 募 集 人 員 経 済 科 (男女共学)

50名程度

● 出 願 資 格

次の条件を全て備えている者

- ① 高等学校最終学年に在学し、令和9年3月卒業見込みの者
- ② 人物に優れ、出身高等学校等校長が責任をもって推薦する者
- ③ 在学中の成績(3学年1学期まで)が全体の評定平均値3.3以上の者

ただし、商業科・総合学科については、評定平均値3.3未満の者であっても

下記の要件に該当する者は出願を認める

- ・日商簿記2級、全商簿記1級取得者または実用英語技能検定準2級取得者(評定平均値は問わない)
- ・日商簿記3級または全商簿記2級取得者で在学中の成績(3学年1学期まで)が全体の評定平均値3.1以上の者

- ④ 合格した場合は、必ず本学に入学する者

● 募 集 期 間

令和8年11月2日(月) ～ 11月12日(木) (当日必着)

● 出 願 書 類

下記の書類を期日までに提出

入 学 願 書	本学所定の用紙に必要事項を記入(記入例を参照)したもの
受 験 票	本学所定の用紙に必要事項を記入(記入例を参照)したもの
写 真	3ヶ月以内に撮影した写真(胸から上)＜縦4cm×横3cm＞ の写真2枚を、願書の所定欄に貼付(裏に氏名を記入)
志 望 理 由 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
推 薦 書	本学所定の用紙に学校長が作成したもの
資 格 証 明 書	本学所定の用紙(取得した資格を用いて受験しない場合は不要)
調 査 書	出身高等学校等校長作成のもので適性、能力等についての 推薦事項が記入されているもの
入 学 検 定 料	18,000円 本学所定の振込用紙を使用、振込済確認書を 願書に貼付ください。振込手数料が別途かかります。 ※検定料の返還はありません
返 信 用 封 筒	本学所定の封筒(長3)に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、 簡易書留速達料金分の切手を貼付して送ってください

● 出 願 上 の 注 意

入学願書及び入学検定料が受理完了後受験票を志願者宛に郵送します。受験日2日前になっても受験票が届かない場合は、教務学生担当までお問い合わせください。

● 選 考 方 法

課題提示型小論文（言語運用能力試験）と面接（志望理由書と調査書による面接及び小論文試験に関する口頭試問）及び書類選考（志望理由書・調査書）を総合して合否を決定します。

● 試 験 内 容

1. 課題提示型小論文

以下の課題から一つ選択して、400字～600字で論述しなさい。

課題①：経済あるいは社会の出来事等関心のあることを問う予定です。

（課題の詳細については8月頃に本学ホームページにて公開します。）

課題②：本学への志望理由書をもとに、入学までの学修計画（何をどのように学ぶかなど）、
入学後の学修計画と将来の展望（何をどのように学び、どのような将来を考えるかなど）
をまとめなさい。

2. 面接

「1. 課題提示型小論文」で選択した課題によって内容が異なります。

課題①を選択した場合：小論文での記述内容を中心としつつ、本学への志望理由も含めて
1分程度で説明しなさい。

課題②を選択した場合：小論文での論述内容を1分程度で説明しなさい。

※面接の際、面接官はその内容に対して質問・アドバイスをを行います。なお、集団面接となります。

● 試験日・試験時間・試験会場

試 験 日	試 験 時 間	
令和8年11月21日(土)	小論文試験	10:00～10:45
	面接（口頭試問）	11:30～
試 験 会 場	大月短期大学（大月市御太刀一丁目16番2号）	

9時から受付を開始します。係員の指示に従ってください。

● 受 験 上 の 注 意

- (1) 9時40分までに受付を済ませ、指定された席についてください。
- (2) 受験票は試験当日必ず持参し、指定された席の机上に提示してください。
- (3) 当日受験票を忘れた者は、受付で仮受験票の交付を受けてください。
- (4) 筆記用具を持参すること。（下敷きは使用できません。）
- (5) 最初の科目のみ遅刻者の入場は認めますが、解答時間の延長は行いません。
- (6) 試験時間終了前の解答用紙の提出及び退場は認めません。

● 合 格 発 表

合格者は、令和8年12月4日（金）15時に本学（L号館正面掲示）及びホームページで発表します。合否結果は、本人及び出身高等学校等校長宛に通知します。
併せて合格者には、合格通知書及び入学手続き書類『入学手続きについて』を郵送します。
電話、メール等での合否については一切応じません。

● 合 格 後 の 課 題

より良い高校生活と入学後の準備のために本学では推薦選抜合格者に対し、課題を課しております。指定された図書を購読し、本学が提示した課題を提出していただきます。
なお、一定水準に達しない場合は、再提出をお願いする場合があります。
詳しい内容は、合格通知に同封いたしますので、それを参照して、期日までに本学に郵送してください。

● 入 学 手 続

- (1) 合格者には合格通知書及び入学手続き書類『入学手続きについて』を書留郵便で送付します。
- (2) 入学手続き書類を大月短期大学事務局に直接持参する場合は、午前9時から午後5時まで受付します。なお、土、日曜日及び祝日の受付は行いません。

☆問い合わせ先	大月短期大学 事務局 教務学生担当 電話番号：0554-22-5611 メールアドレス：kyoumu@ohtsuki.ac.jp
---------	--

☆問い合わせ時間	午前9時から午後5時まで（土・日・祝日・年末年始を除く）
----------	------------------------------

※ 納 入 金

単位（円）

項 目	入学手続時	前期（4月）	後期（10月）	計
入 学 金	* 市外在住者 200,000	—	—	* 200,000
	* 市内在住者 110,000	—	—	* 110,000
授 業 料	—	189,600	189,600	379,200
施 設 納 付 金	—	* 90,000	—	* 90,000
そ の 他 諸 費 用	—	* 56,430	—	* 56,430
合 計	* 市外在住者 200,000	336,030	189,600	725,630
	* 市内在住者 110,000	336,030	189,600	635,630

※ *印は入学年度のみ。2年次生の納入金は授業料のみとなります。

※ 市内在住者とは令和8年4月1日以前から大月市に住所を有する者。

（注）

- ① 納入方法など詳細は合格通知と同時に送付される『入学手続きについて』を参照してください。
- ② その他諸費用の内訳は、学生自治会費15,000円、後援会費24,000円、学生教育研究災害傷害保険料2,430円及び課外活動費5,000円、同窓会費10,000円となっています。

なお、この表に掲載したその他諸費用以外に履修科目によっては実習費を徴収することがあります。

※ 高等教育の修学支援新制度について

本学は令和8年度高等教育の修学支援新制度の対象機関（確認大学等）となっています。
 なお、令和9年度についても、対象機関更新確認申請を提出済みであり、設置者による審査中となっています。最新情報及び詳細は本学ホームページ「受験生の皆様」内、「修学費用」のページもしくは合格通知書に同封する『入学手続きについて』をご覧ください。

※ 下宿・アパートについて

本学には学生寮はありませんが、下宿、アパートへの入居を希望する方のために地域のアパート組合が斡旋を行っています。

案内図等詳細は、合格者に郵送する『入学手続きについて』にて同封します。

◆ 「令和6年能登半島地震」に係る授業料等の減免について

標記の自然災害等により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。被災された皆さまの生活が、1日も早く復旧することをお祈り申し上げます。

大月短期大学では、「令和6年能登半島地震」により被災された受験生の皆様に対しまして、経済的な理由により就学を断念することがないよう、また、進学のための確保を図る観点から、以下の基準により授業料等を減免しております。

なお、罹災証明書では判断が困難である、人的被害その他を事由として家計が急変したことにより就学が困難となった等の場合は、独立行政法人日本学生支援機構の緊急採用及び応急採用の基準に準拠し、別書類の提出を求めた上で判断しますので下記問い合わせ先までご相談ください。

自然災害等による被災受験生に係る授業料等減免基準

◇対象となる自然災害等

名 称	減免対象入学年度
「令和6年能登半島地震」	令和 6年度～令和10年度

1. 受験生

罹災証明書による		入学検定料
被害の程度	損害割合	18,000 円
全壊	50%以上	免除
大規模半壊	40%以上 50%未満	
中規模半壊	30%以上 40%未満	
半壊	20%以上 30%未満	
準半壊	10%以上 20%未満	1/2 減免
準半壊に至らない (一部損壊)	10%未満	

2. 入学生

罹災証明書による		入学金		初年度授業料	
被害の程度	損害割合	市内 110,000 円	市外 200,000 円	前期分 189,600 円	後期分 189,600 円
全壊	50%以上	免除	免除	免除	対象外
大規模半壊	40%以上 50%未満				
中規模半壊	30%以上 40%未満				
半壊	20%以上 30%未満				
準半壊	10%以上 20%未満	1/2 減免	1/2 減免	1/2 減免	対象外
準半壊に至らない (一部損壊)	10%未満				

◇減免の対象者

上表の1または2に該当する者で、以下の(1)及び(2)全てに該当する者。

(1) 本人若しくは監護者の居住地が、当該災害により災害援助法に適用された市町村であること。

※災害援助法に適用された市町村は、内閣府のホームページ「防災情報のページ」にて

「令和6年能登半島地震にかかる災害救助法の適用について【第2報】」

をご確認ください。

「災害救助法の適用状況(内閣府)」

URL http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyoku.html

URL QR Code ⇒



(2) 次の時期に罹災証明書の写しを提出した者。

1. 受験生 … 出願時

2. 入学生 … 入学時

本件問い合わせ先

大月短期大学事務局 総務担当

電話 0554-22-5611

本件事務取扱時間 平日9:00～17:00

※ 受験にあたっての宿泊先案内

試験会場となる大月短期大学は、ＪＲ大月駅から徒歩５分の至近距離にあります。

また、ＪＲ大月駅は特急電車の停車駅となっており、甲府駅、八王子駅からもともに３０分、普通電車を利用される場合は６０分程度です。

ＪＲ八王子駅または甲府駅周辺に宿泊し受験される場合は、時間の余裕をもって試験会場においでください。

なお、大月周辺のホテルなどは下記のとおりです。宿泊の予約については、直接お問合せください。

■ 大月駅周辺

名 称	住 所	問い合わせ先
東横ＩＮＮ富士山大月駅	大月市御太刀２－３－１	0554-21-2045

■ 近 郊

いずれも、試験会場への交通機関は鉄道または車となります。

名 称	住 所	問い合わせ先
ファミリーロッジ旅籠屋	都留市つる１－１２－２９	0554-45-8858
山梨泊まれる温泉より道の湯	都留市つる１－１３－３１	0554-56-8600
ビジネスホテルインターフジモト	都留市つる４－２－２１	0554-45-2121
ビジネスホテル都留	都留市上谷２－５－２５	0554-45-2210
ホテルスターランド	都留市下谷２４５０－１	0554-45-6711
ビジネスホテル泉屋	都留市小形山４３	0554-43-8940
ルートインコート上野原	上野原市上野原３２４５	0554-63-5711
金の森山荘	大月市大月町真木６１８８	0554-23-1021

※ 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有し、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願期間の
２週間前までに本学に相談してください。

なお、事前相談の内容によっては、診断書等の提出が必要となる場合があります。

※ その他

- ① 出願状況等、電話・メールでの問い合わせは一切応じられません。
- ② 試験会場周辺及び駅付近にて合否通知電報を取り扱う業者や個人が出ていることがあります。
これらの者に依頼して起こるトラブルなどについては、本学は一切責任を負えないので十分注意してください。

試験会場案内図

大月短期大学



大月市立大月短期大学事務局

〒401-0012



山梨県大月市御太刀一丁目16番2号

TEL 0554-22-5611

FAX 0554-22-5613

ホームページアドレス <https://www.ohtsuki.ac.jp/>